

現「産業振興プラン」策定後の経緯

現「産業振興プラン」策定 平成20年度～

- 文化と産業を創造する『場と仕組み』をつくる
- 創造力を活かした産業の振興を図る（文化と産業の融合）
- 中小企業の経営基盤を強化し、技術革新や高付加価値化を図る
- 誰もが訪れたいくなる活気と魅力あふれる商店街をつくる

「産業振興基本条例」施行 平成23年度～

- ＜前文＞
社会経済状況の変化に適応することができる創造力のある産業やその担い手を育成する必要性が生じている
- ＜基本理念＞
産業振興は、事業者が創意工夫及び自助努力に基づく事業活動を行うとともに、区、商店会、産業経済団体等が一体となって、当該事業活動を促進することを基本とする
- ＜事業者の役割＞
事業者は、自らが地域社会の一員であることを自覚し、地域社会との調和を図り、その発展に寄与するように努めるものとする

「産業振興会議」設置 平成23年度～

- ＜第1期＞
中小企業：施策の周知・情報発信、他機関との連携
商店街：組織力強化する活動の支援、地域との協力による商店街のあり方 個店の活性化
- ＜第2期＞
従来の産業の枠にとられない企業の支援
チャレンジ精神のある企業の支援
観光と一体となった産業振興

「産業実態調査」 平成28年度

- 経営者の高齢化と事業承継、一定規模の創業者
- 海外展開、観光、オリパラへの低い関心度
- 新事業展開・主要事業拡大による経営状況の変化
- まちのブランド力への期待
- 多様な地域特性

次期「産業振興プラン」検討 平成28年度～平成29年度

「産業、団体」の支援から「個」の支援へ
自助努力を行う企業を中心とした支援へ

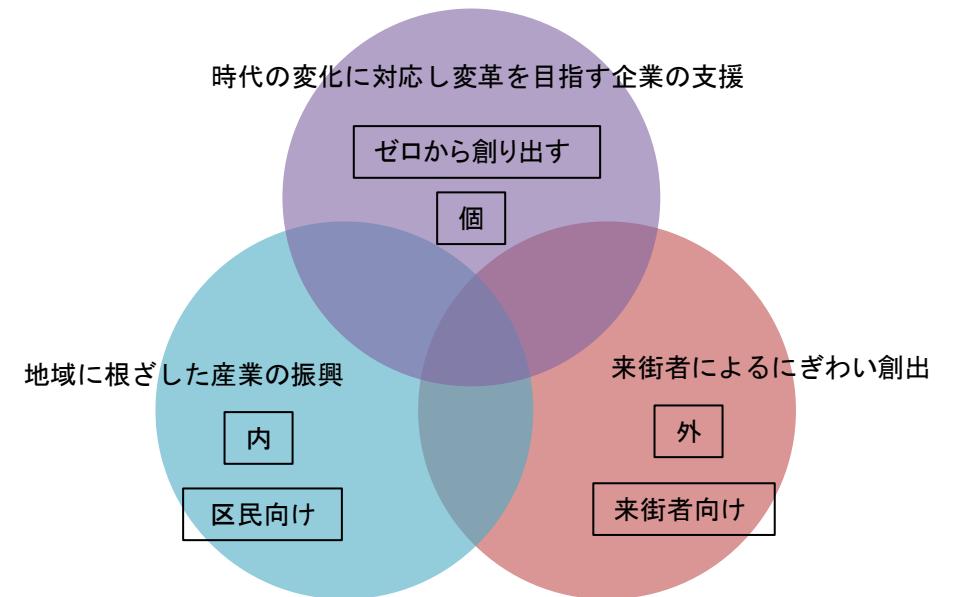
地域と連携した活動への支援へ
各地域の特性を活かした活動への支援へ

「文化と産業」から「観光と産業」へ
住民だけでなく来街者へも向けたサービスの支援へ

次期「産業振興プラン」策定 平成30年度～

産業振興ビジョン

新宿区の特性を活かした、新たな価値を創造する産業の支援



時代の変化に対応し 変革を目指す企業の支援	地域に根ざした 産業の振興	来街者による にぎわい創出
<ul style="list-style-type: none"> 顧客ニーズに合わせたサービス・商品の提供 海外進出 産学官金連携による新たな事業展開 創業による新産業創出 事業承継 商店街の個店の魅力向上 	<ul style="list-style-type: none"> 区内での持続的な事業活動 地元住民の雇用 CSRとしての地域貢献 地域課題解決のためのサービス 創業しやすい環境づくり 商店会組織の強化 地域の活動団体(町会、PTA等)との連携 商店街、地場産業団体等によるイベント開催(住民向け) 	<ul style="list-style-type: none"> 来街者向けサービスの提供 土産品の開発 商店街、地場産業団体等によるイベント開催(来街者向け) 地域情報の発信 まちのブランドづくり 来街者の多さを活かす事業展開(ディスプレイ効果含む)



新宿区
計画・施策の策定、各実施主体の行う取り組みに対する支援